

Kapasia, Gazipur  
モデル農家数: 23  
総耕作面積: 5,750 m<sup>2</sup>



Ekhlaspur, Chandpur  
モデル農家数: 18  
総耕作面積: 3,720 m<sup>2</sup>

## モデルサイト選定理由

- 農業が主な収入獲得手段
- 最新農業技術・ノウハウに乏しい
- 農作物販売網が確立されていない
- テレセンターを有効に活用できる



カパシア代表農家



収穫を手伝う  
モデル農家の子供たち



エクラスプールモデル農家



エクラスプール  
テレセンター看板

## IGPFが指導してきた代表的な有機農業方法

### ① 土づくり

=>農村現場で手に入るもので作る堆肥

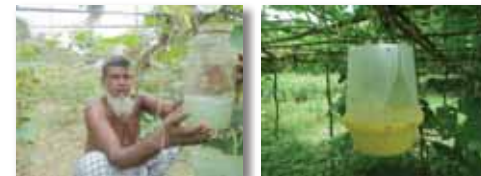
### ② 病虫害防除

=>コンパニオンプラント, ニームスプレー, フェロモントラップ

### ③ 鳥害対策

=>ネットによる対策

これらの農業方法は, IGPFによる定常的な講習会と BSMRAU(パートナー機関)での実地トレーニングで農民に教授される



果樹樹液と殺虫剤による毒餌トラップ  
(殺虫剤は直接散布しない)



ニーム葉の煮汁スプレー  
(アブラムシ対策)



牛糞・バナナの木、葉・ツル科の植物等を利用した堆肥作成過程



コンパニオンプラント  
(トマト・バジル・キャベツの混栽)



BSMRAUでの農業トレーニング  
左:講習会, 右:実地研修

2010年6月	プロジェクト開始
2010年6月-7月	準備作業:モデル農家説明
2010年8月-9月	第一期冬作作付  ①
2010年11月-11年1月	第一期冬作収穫
2011年2月-3月	第一期夏作作付  ②
2011年 6月-7月	第一期夏作収穫
2011年8月-9月	第二期冬作作付  ③
2011年11月-12年1月	第二期冬作収穫
2012年2月-3月	第二期夏作作付  ④
2012年 6月-7月	第二期夏作収穫



Ridge Gourd



Ash Gourd

## プロジェクト開始後の収穫物

①第一期冬作	冬瓜・トマト・キャベツ・カリフラワー
②第一期夏作	オクラ・ゴーヤ・キュウリ・Ridge Gourd・Ash Gourd
③第二期冬作	冬瓜・トマト・キャベツ・カリフラワー
④第二期夏作	ゴーヤ・キュウリ・Ridge Gourd・Ash Gourd